

★地域活動報告

◆天の川環境保全活動



天野川をきれいにしています。今年の清掃活動の日程は野口のホームページに掲載します。

◆竹炭作りボランティア



竹炭作りボランティアも1月14日の初釜を皮切りに2013年の活動開始です。

★2013年 新春の集いのお知らせ

2013年も下記の要領にて『野口ようすけ新春の集い』を開催させていただきます。皆様お誘い合わせの上、ご参加をお待ちしております。

記

- ・日時 : 2013年2月9日(土) 11:30~13:00 (11:00受付開始)
- ・場所 : ゆうゆうセンター (保健福祉総合センター) (交野市天野が原町5-5-1)
- ・会費 : 1,000円/人

参加ご希望の方は、お名前・ご住所を下記までTEL/FAXまたはメールにてお知らせいただきますよう、お願い申し上げます。

野口ようすけ後援会

TEL/FAX: 072-397-9615

EMAIL: noguchi_katano@circus.ocn.ne.jp

※この催物は、政治資金規正法第8条2項に規定する政治資金パーティに該当します。

お電話・FAX・Eメール・ホームページにてご相談ください。

野口ようすけ

【TEL/FAX】072-397-9615

【Email】ynoguchi_katano@hello.zaq.jp



最新情報、議会報告、活動内容は、

野口ようすけ

検索

★ひとが育つまちづくり★

野口ようすけと通信

星のまち ほっと

発行日: 2013年1月 22号
発行人: 野口陽輔

★ご挨拶



新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も引き続きご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

昨年末は衆議院議員総選挙がありました。交野市から16年国会にお送りいただいている平野博文候補を私も支援してまいりました。残念ながら当選には至りませんでした。交野市民の皆様にもたくさんのご支援をいただきましたことを、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

2009年の政権交代は、「希望と安心の社会づくり」へと大きく舵を切るスタートでありました。民主党政権のもと、供給側を重視する政策から、生活者・働く者の視点に立った政策へと転換し、子ども・子育て政策の拡充、社会保障と税の一体改革の推進などが実現されました。しかし、そうした実績を訴える声が国民に届かず、さらにはガバナンスを欠いた党運営への批判も高まり、衆議院総選挙では、民主党政権に不信任を与える結果となったことを残念に思います。

今、かつての高度成長期のように「富を分配」していた時代から、少子高齢化やそれに伴う人口の減少など「リスクを分配」し合い「お互いが助け合う」時代に変化しつつあります。こういう時代の変革期だからこそ、政治のリーダーシップが必要であり、自民政権においては、かつての公共事業だけに頼らない、産業の育成を視点にした経済政策、人が生きがいを持って暮らすことのできる社会保障政策を推し進めてもらいたいと思います。

民主党に籍を置く私も、今回の選挙結果を真摯に受け止め、反省すべき点は反省をし、これからも、引き続き国に対して私たち地方の声を届けてまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

今回のほっと通信では、「交野市の強みと弱み」をテーマに整理してみましたので御一読いただければと存じます。なお、個々の取組み施策(提言)については、次号から随時掲載したいと思います。

平成二十五年一月吉日

野口陽輔



★交野市の強みと弱みについて考える

交野市は、北河内各市の中でも比較的穏やかな人口増加傾向を辿っています。近隣地域と比べ、良好な住環境を保っており、持ち家率の高さなどが示すように、市民にとって「住み続けたい街」と言えます。この定住意識が地域自治への高い関心や、地域色ある取り組みにつながっていると考えられ、穏やかな人口推移となり好循環していくと思われます。交野市の人口構成は、60～70代層が最も多く占めている一方で、次に30～40代層が多く、未成年世代も他市よりも比較的多くなっています。高齢者の居住・移動対策や若年層人口の流出防止の取り組みなどは緊急の課題であります。

一方、交野市からの就学・就労の人の流れは、枚方市、寝屋川市、京都市、大阪市及び、兵庫や奈良への流出が流入を超過しており、交野市に在住しながら、就学や就労の場を市外へ求めていることがわかります。このことは、①良好な交野の住環境、②JR学研都市線や京阪交野線、第二京阪道路（国道1号線バイパス）、国道168号線といった近隣都市へのアクセス環境の良さという強みの部分と、③交野市内における就学・就労の場の少なさ、という弱みの部分が作用していると考えられます。これらの強みを活かし、弱みを克服する施策が必要となっております。

また、交野市の地勢的な強みとしては、豊かな自然や風土に根付いた歴史や文化資産、いきいきランドやいわふね自然の森スポーツセンター、府民の森、くろんど園地など市民が利用するスポーツ・レクリエーション施設などが数多くある一方で、過去の投資による土地開発公社の負債・余剰地（不良資産）などの財政上の弱みもあります。これら資産の整理を進めることで、より活発な利活用を促進する施策が求められるところです。交野市内の産業においては、かつて昭和45年には40%近くあった製造業が、平成7年には31%、平成17年には18%まで減少し、卸売・小売・飲食業などの第三次産業や医療・福祉などの比率が高まっています。この内需型産業中心の産業構造の転換に向けた対応策が必要であると考えられます。

上記のように、交野市の特徴及び課題を再認識するためにも、市の財産と負債、歴史継承と時代の変化、市民の市内外での行動や意識などの動態を捉え直し、表出したニーズだけではなく、隠されたニーズにもアプローチしていけるような市政運営が求められていると考えます。

これらの状況も踏まえ、いま、重点的に取り組むべく課題を「交野市政への提言」として、今後、皆様にも報告させて頂きたいと思っております。



豪雨災害被災状況(平成24年8月14日)

昨年8月14日に発生した集中豪雨では、交野市でも多くの水害に見舞われました。議会でも、都市型水害対策について、議論を進めております。今回の災害状況をまとめましたので報告させていただきます。

【河川護岸崩壊】 6箇所（修復費用 4千3百万円）

- ・がらと川 右岸 郡津二丁目（倉治橋付近）
- 右岸 倉治八丁目
- 左右岸 倉治七丁目

（桜堤線、交野久御山千よりJR側100m付近）

- ・幾野六丁目水路 右岸
- ・私部北川 左岸 向田三丁目
- ・妙見川 左右岸 星田九丁目

【道路陥没】 5箇所（修復費用 4百万円）

- ・がらと川 左岸 郡津二丁目（倉治橋付近）
- 右岸 倉治八丁目

・傍示 2箇所

- ・星田九丁目

【里道陥没】 1箇所（修復費用 1百万円）

- ・妙見坂三丁目

【法面崩落】 1箇所（修復費用 1百万円）

- ・藤が尾五丁目

【床上浸水】 44件（2012年11/15現在）

【床下浸水】 174件（2012年11/15現在）



★野口のつぶやき

巳年とは、西暦年を12で割った際、余りが9となる年です。

「巳」本来の読みは「し」と読み、原字は、頭と体ができかけた胎児を描いたもので、子宮が胎児をつつむさまを表す「包」の中と同じです。十二支の「巳」は植物に種子ができはじめる時期と考えられております。「漢書 律曆志」では「止む」の意味の「巳」とし、草木の成長が極限に達して、次の生命がつくられはじめる時期と解釈されています。これを「ヘビ」としたのは、庶民に十二支を浸透させるため動物の名前をあてたのですが、順番や選ばれた理由は定かではありません。私もこの1年を通じて新たな取り組みを生み出し、発信していく1年にしたいと思います！

【2013年 議会での役割】

- 市民かがやきクラブ幹事長
- 議会運営委員会委員
- 総務文教常任委員会委員
- 四條畷市交野市清掃施設組合議会議長
- 交野市都市計画審議会委員



今年も一年がんばるぞー！